

平 3 0 年 度 岡 山 市 市 民 協 働 推 進 モ デ ル 事 業 報 告 書

実 施 団 体	団体名	西川エリアまち育て協議体 (担当者 代表 池田 一晃)			
	合同実施団体 (* 協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)				
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	庭園都市推進課		電話	803-1393
	担当者 2名	職名	副主査	職名	副主査
		氏名	竹下 麻紀	氏名	服部 立弥
事業の名称	西川エリアの魅力向上のためのまち育て協議体の設立 ～自然ロケーションと地域資源を融合した仕組みづくり～				
本事業により解決を目指した課題とその成果 ※アンケートなどあれば添付してください。	<p>事業者・住民・地権者等による主体的な地域活用計画（エリアマネジメント）を行うための『西川エリアまち育て協議体』を設立し、地域社会に協議体が浸透するための活動を行った。</p> <p>初年度である H30 年度は、地域資源・主力産業である飲食分野の連携と西川エリアの魅力づくりを考えていくための活動を中心に、西川エリアを「最高のロケーションが個性的な飲食や独創的なエリア活用と融和したまちづくり」にすることを目指した。飲食店組合への声掛けなどにより、今年度は飲食業を中心にホテルも含め 50 以上の事業者が参画。</p> <p>企業との連携として、ぐるなび大学と共催で飲食店向けに外国人客対応セミナーを開催（8/29）。セミナー後の飲食店さまからのアンケートでは協議体の主旨に沢山の共感をいただいた。西川エリアの既存イベント「ホコテン！」と同時開催で「通りに名前をつけよう」公開ワークショップを開催（1/27）。西川緑道公園の歴史とともに、多くの方から積極的なアイデアや発言があり大いに盛り上がった。 これら 2 つの事業は、メディアでも取り上げられた。</p> <p>地域に協議体の存在を知ってもらうフリーペーパーの発行も行った（3回）。西川エリア外の美術館や図書館からも設置のご要望をいただくほか、企業からも送って欲しいとの問合せをいただくなど、内容にも好評をいただいている。</p> <p>今年度は同時にニーズ調査も行うことができ、西川エリアに関するアンケート調査を実施（回答約 300 件）。市民の意見を反映するデータが得られた。 協議体の動きが段々と実を結び、2 月には警察や町内連合会と、西川エリアの現状と課題、将来像を共有するための顔合わせ&意見交換会議を行う事が出来た。</p> <p>（※ニーズ調査・アンケート結果に関しては、平成 30 年度ニーズ調査事業実施報告書をご覧ください）</p>				
市と協働した内容と 協働の効果	<p>1. 団体が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店に向けての啓蒙活動 西川エリアの現状と課題を知ってもらい、西川エリアの魅力づくりへの参画をうながした 2019 年の瀬戸芸や芸術交流、2020 年のオリンピックに向けて、外国人客対応のための具体的な事例やツールの紹介 ・ 地域の課題を市民から得るためのプラットフォームになる 初の夜間の通行量（自動車・バイクは除く）調査、Web サイトによるアンケート調査 ・ 公開ワークショップ開催による地域住民の方々との交流と協議体の認知度向上 ・ 地域情報発信媒体の作成（フリーペーパー、Web サイト、facebook） 				

	<p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーの市内各所への設置 ・岡山市観光課による飲食店向けのハラルセミナーの開催(8/29) ・毎月の西川エリアのイベント情報提供 ・プレスリリース <p>3. 協働した効果</p> <p>岡山市との協働事業であることが、新しく設立された当協議体の信用度を高め、飲食店や事業者への声かけがスムーズに行えた。また、市の関連する施設へのフリーペーパーの設置や、別事業である県庁通りデザインミーティングへの会議および登壇者としての参画、既存イベント「ホコテン!」との連携などが初年度から実施できた。</p> <p>協議体の Web サイトは、西川エリアのイベントの「まとめサイト」的な役割を果たし、今までバラバラであった情報発信の一元化が可能になった。</p>
<p>事業の内容</p> <p>※事業内容が具体的にわかる資料を添付してください。(チラシ、報告書、写真等)</p>	<p>西川まち育て協議体は、圧倒的当事者として街に飛び出して、西川エリア内の飲食店・事業者・宿泊施設との協力体制づくりや、岡山市、町内会、警察と地域資源活用ルールの検討などを行って行く。訪れた人に、暮らす人に、働く人に、地域の未来に、笑顔がたくさん増えるように、私たち協議体がコミュニケーション・プラットフォームとなり、点を繋げて新たなネットワークを創る。</p> <p>長期的視点にたつて、「まちの付加価値を高める＝まち育て」に取り組み、地域の開発計画、魅力づくり計画をたてていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地元の人が自信を持って“岡山一の飲食店街「西川」とPRできる安心安全な街に 2. 住民の方が安心して暮らせる街に <p>●活用ルール作成と自治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者向けセミナー開催「外国人客対応セミナー」開催日：2018年8月29日 参加者：57名 ・まち育てワークショップ「通りに名前をつけよう」開催日：2019年1月27日 参加者：約30名 ・西川エリア観光マップ制作 <p>●情報収集・分析・共有・配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西川エリアの夜間交通量（通行量）調査 ・ニーズアンケート調査 ・フリーペーパー発行 <ul style="list-style-type: none"> 「Vol. 01」初版／発行日：2018年8月1日 発行部数：1000枚 「Vol. 01」改訂版／発行日：2018年9月1日 発行部数：1500枚 ※初版が売り切れたため増刷 「Vol. 02」／発行日：2019年1月15日 発行部数：1500枚 <p>配布先：岡山市役所、ももたろう観光センター、オリエント美術館、夢二郷土美術館、岡山県立図書館、池田促成青果店、西川エリア内のホテル・飲食店 など</p> <p>●既存イベント団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の一元化管理 西川エリアまち育て協議体「プラットフォーム西川」http://nishigawa.space/ ・西川エリア内でのイベント企画 ・コーディネート及びディレクション <p>※ 資料添付：西川エリアまち育て協議体について.pdf、2018メディアでの紹介一覧.pdf</p>
<p>事業実施の体制 ・実施者名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総括責任者 池田一晃 2. 個別事業責任者 山下リール

事業実施経過	月 日	実施内容
	5/15	会議
	6/8	会議
	6/13	通行量調査下見
	6/16	通行量調査 (※)
	7/22	県庁通りデザインミーティングに登壇、アンケート調査 (※)
	7/24	会議
	8/1	フリーペーパー-01 を発行、Web サイト開設
	8/7	会議
	8/19	西川清掃へ参加
	8/21	会議
	8/29	セミナー開催 in 西川アイプラザ
	9/1	フリーペーパー-01 改定版として増刷発行
	10/5	サタデーナイトカーニバル会議に参加
	10/8	通行量調査カウント作業 (※)
	10/9	会議
	10/23	会議
	11/2	サタデーナイトカーニバル会議に参加
	11/3	アンケート調査 (※)
	11/16	通行量調査 (※)
	11/21	会議
	12/1	通行量調査 (※)
	1/8	会議
	1/11	サタデーナイトカーニバル会議に参加
	1/15	フリーペーパー-02 を発行
	1/19	通行量調査カウント作業 (※)
1/27	公開ワークショップ開催	
2/1	サタデーナイトカーニバル会議に参加	
2/6	会議	
(※ニーズ調査の結果に関しては、平成 30 年度ニーズ調査事業実施報告書をご覧ください)		
実施上で連携した団体とその内容	名称	期待される役割
	ぐるなび大学	飲食店サポート
	サタデーナイトカーニバル	岡山駅を中心とした1kmエリアの活性化 (西川エリア、奉還町商店街、岡山駅前商店街、イオン、岡山駅東口広場連携強化)

本事業を踏まえた、 翌年度以後の予定	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input type="checkbox"/> その他 () ----- 具体的な計画があれば記載してください
-----------------------	--